

**(第5回)『神保原駅北まちづくり基本構想(案)』住民説明・意見交換会
意見交換概要**

開催日時	令和4年2月5日(土) 午後7時00分～午後8時30分	開催場所	神保原公民館 2階 ふれあいホール
対象	全町民	出席人数	5名
事務局	上里町まち整備課都市整備係		

協議内容

- 1. 開会
- 2. 山下町長あいさつ
- 3. 上里町職員紹介
- 4. 本日のスケジュール・配布資料の確認

—配布資料—

- ・ 次 第
- ・【資料1】神保原駅北まちづくり基本構想(案)
- ・【資料2】今後のスケジュールについて
- ・広報2月号「住民説明・意見交換会について」の配布チラシ

■ 5. 【説明】

「神保原駅北まちづくり基本構想(案)」・「今後のスケジュールについて」
事務局より説明

～約20分程度～

■ 6. 【意見交換会】P.2以降より掲載

■ 7. 閉会

ご意見・ご質問

(ご意見：住民)

- ・高崎線沿線で高校の無い駅は神保原だけなのですよね。なんとか、上里町にも高校を誘致できないものですかね。駅周辺のみならず、町全域を視野に入れると、用地は沢山あると思うのですよね。駅の南にもありますし、下水道の整備を予定していた所も、今度本庄道路ができて、交通の便も良くなると思いますし、用地として考えるところは沢山あると思います。一番になるのは良いですけど、ワースト一位じゃではだめですよ。是非、上里町にも高校を誘致できないものかとそう思っています。
- ・それと、意見を述べる所が無いので、本日あえて言うのですが、以前とある総理が希望出生率1.8って言っていましたよね。しかし、希望出生率1.8では、減少するのは当たり前ですよ。せめて2.1や2.2を目指していくべきではないでしょうか。上里町でも人口減少が進行している中で、そのような数値を目指していくべきだと思います。私個人として、言う所が無いので本日あえて口にしたのですが、町としてもそのようなことを言うのも良いのではないかと思います。よろしくお願いいたします。

(回答：事務局)

①

- ・高校の誘致ということでございますけども、塩原学園の方から、町の方に移転してきたいという要望書が出されております。町としても、基本構造の中でも触れておりますけども、この駅の北側の緑色のゾーンに「まちなかふれあいゾーン」において、イメージということで「教育機関等の誘導」についても記載させていただいております。町としては賑わいを創出することや、地域の温かさが生まれるということで、こうした教育機関の誘導を進めていきたいと思っております。ただし、こちらの緑色のゾーンについては、駅の北側の広い土地の部分にどういったものを誘導することが良いのか、そういった所は教育機関以外についても様々なご意見があると思っておりますので、色々な町民の皆さんのご意見をいただきながら、どういった整備をしていくか、来年度以降決定していきたいと思っております。町内に他にも土地はあると思うのですが、やはり学生が「ここに行きやすい」といった利便性も重要ということで、ご意見を伺っておりますので、なかなか駅から遠いところだと教育機関は置きづらいのかなと感じております。
- ・いずれにしても、駅北には賑わいが生まれるような整備を進めていきたいと思っておりますのでご理解とご協力をお願いいたします。
- ・また、出生率の話もありましたが、町としても公園の整備や教育機関を誘導したりすることで、子育てしやすい環境を整えていければと思っております。

(ご質問：住民)

②

- ・今の質問に被る所もあるのですが、トライアルの敷地の使い方によって、北側の施設配置の議論の方向性が大きく変わってくると思います。なので、まずトライアル跡地をどういったことに使うか、考えていく必要があると思います。今おっしゃったように、高校が来るという話も聞いておりますし、高校が無理な場合は公園などを計画されるということですが、その内容によってまったく周りの都市計画などが変わってくるので、その辺はまず、トライアル跡地の土地利用を先に決めてから、全体の構想を計画したら良いのではないかと感じております。
- ・道路の拡張など色々計画されていると思うのですが、そのようなハードというよりはどちらかというソフト的な所、例えばどういうものができたら人が集まるかどうか、あるいは外から駅の北口に人を集めるのか、それとも今の空き家とかそういった

ところを、より良い住宅設備によって居住人口を増やすのかどうか、そのような方針がどうなっているのか話を聞かせていただきたいと思います。

- ・多方面にわたって計画を考えていると思うのですが、財源はどこから捻出するのか教えていただきたいと思います。他のまちで駅前の計画とかやっているのですが、とあるデベロッパーに丸投げしたところ、結局そこが潰れて、計画自体が頓挫して、中途半端な状況になり、逆に閑散としているというか、危ない状況になっている地域もあるので、その考えもお聞かせください。

(回答：事務局)

- ・まず、まちづくりを進めるにあたって、大型商業施設跡地に何を整備するのか、何を誘導するのが核になると思っております。今現在大型商業施設跡地は民有地でありますので、町としてはこれから何を整備するのか考えるためにも、町の方で地権者様と土地の所得に向けた交渉をさせていただいております。できるだけ早く町の土地にすることで、実際何を整備するか考えることができると思いますので、町としてそのような動きをしているということをご理解いただければと思います。
- ・そこに何を整備するか、町の考えはありますが、来年度から皆様とお話をさせていただいて決めていきたいと思っております。それによって周りもどういった整備をしていったらいいのかも変わっていくと思っておりますので、そういった意見交換の場も設けさせていただけたらと思います。
- ・それとソフト面ですね。これについても地元の皆様、町民の皆様の考えも伺ったうえで、どのようなソフトな対応ができるのか、そういうものを来年度、基本構想の方向性に基づいて、どういったものができるのか、話し合っていて決めていきたいと思っております。
- ・最後に財源のお話ですが、整備については多額の費用がかかります。道路や駅前広場、こういった整備等については、できる限り国の補助金を活用して進めていきたいと思っております。また、施設の誘導については、できる限り官民連携ということで、民間の活力を活用して賑わいを創出できるように考えていきたいと思っております。

(回答：町長)

- ・高校誘致の話で色々な意見があるのですが、昨日、病院の話が出まして、私が町長になった時にトライアルの跡地に総合病院か救急病院が誘致できないかということで、とある医療機関と折衝して、何とかできないかということで動きました。新型コロナウイルス感染症が蔓延する前の2019年頃に検討した結果、埼玉県内のベッド数がこの地域は足りているということと、地元の医師会の賛成が得られないとなかなか厳しいというご意見をいただきました。しかしながら、今のコロナの感染状況を見ると、新型コロナウイルスが蔓延する前も、群馬県の医療機関に上里町の4割の方が藤岡総合とか伊勢崎市民病院とかでお世話になっていることがわかりました。新型コロナウイルスが蔓延したら、基本的には群馬県側の医療機関に非常に制限がかかっている状況でございます。
- ・町民の命を守る者からすれば、先程のアンケートにもありましたが、医療機関の誘致も選択肢の一つにあるのかなと、群馬県の医療機関に頼るだけでは町民の命は守れないということを認識しております。
- ・また、今後県の方にも、ベッド数の制限については新型コロナウイルスの蔓延によって変わったのではないかと、そういう状況を私は認識しておりますので、選択肢の一つとして考えていきたいと思っております。
- ・それから、日経新聞の1月8日号に、「上里町、駅周辺の機能整備」という見出しで

	<p>記事が掲載されております。この中に、車中心の交通から人中心のまちづくりをしようという主旨である、国土交通省の「ウォークブル推進都市」に上里町が登録されまして、駅周辺の所も車中心から人中心のまちづくりを進めて行くという、ソフトの話もございました。そうした所も今後のまちづくりの中に配慮していきたいと思しますので、ぜひご理解をいただきたいと思ひます。</p>
<p>③</p>	<p>(ご質問：住民)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、本庄バイパスが整備されると車移動の中心がそちらに移動すると思ひますが、本庄バイパス沿道にどんどん店ができて発展するのではないかなと想像します。本庄バイパスと駅の北側の関連性で、何かお考えや計画はあるのでしょうか。 <p>(回答：事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、駅の北側のまちづくりを進める訳ですが、これからその町の北側に本庄道路ができるということで、確かにそちらの方に車の通りも変わると思ひます。町としては、構想道路ということで、スライドの26を見ていただきますと神保原停車場線駅前通りがあると思ひますが、国道17号から北側に国道17号の本庄道路とを繋ぐ道路を「構想道路」として都市計画マスタープランの方に位置付けをしております。町として、まちづくりが進んだ後、本庄道路から活性化を向上させるために、進めていきたいと思ひております。
<p>④</p>	<p>(ご質問：住民)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町長さんのお話で、駅から本庄道路までの構想があるというお話なのですが、以前県土の方からカインズホームの所の道を本庄道路までまっすぐもっていくと4軒くらい対象範囲に重なるのですよね。それは県の費用で整備すると言っても、我々の税金ですからね。少しカーブさせれば1軒も重ならず、本庄道路まで行けると思ひます。東の方ずっと田園地帯ですから、そのような構想を持って整備してもらう方が、いずれ住民のためになるのではないかなと思ひます。本庄道路だっまっすぐ整備されている訳ではないので、そのような考慮をして、住民、県民、国民の税金を少なく使うように進めていただきたいと思ひます。 <p>(回答：事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道については計画が進んでいて、住民の要望などをいただいてこれからも進めていきたいと思ひております。 ・また、この駅前通りの構想道路については計画をする段階で出来る限り住宅が当たらないように進めて参りたいと思ひておりますので、その際は、ご理解とご協力をいただいて進めて参りたいと思ひます。
<p>⑤</p>	<p>(ご意見：住民)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日は意見交換会と言うことですが、見たとおり人数的には私でも数えられる位なのです。これで住民説明会が終わったという認識で困るという心配があります。このコロナの時期になぜ意見交換会を開かなくてはならなかったのかがよくわからないのですが、その点について教えていただきたいです。 ・それから、駅北の道路の整備について皆さん関心があると思ひますが、駅のクランクの部分の問題の説明が私は理解できなかったので教えていただきたいです。 ・それから、色々なゾーンがあるということで説明がありましたが、一例として教えていただきたいのですが、水辺のゾーンというのは御陣場川が流れていって、途中で合

流がある訳なのですが、現状駅前通りを見ても相当深くなっていて、一般の人が眺めることは良いのですが、何かを楽しむというより、先に恐怖感を覚えるような気がします。場所によっては、楽しむことができる所もあると思いますが、治水の問題など、台風や何かで水が大量に出た場合の問題の対処の仕方をどのように考えていくのか教えていただきたいと思います。

- ・それから、空き家の問題については現状で捉えるのか、今後増えることを予測して長期的な考えでどのように処理をしていくのか、どのように対応を考えているのか教えていただければと思います。
- ・一番の問題はクランクについて、教えて下さい。

(回答：事務局)

- ・まず、住民説明会ですが、現在、新型コロナウイルスのオミクロン株が猛威を奮っている時期に行なっている理由ということでございます。こちらの基本構想は、町としてはまちづくりにあたって今年度計画として策定していきたいと思います。そういったスケジュールを持っている中で、町民の皆様のご意見を伺った上で、計画策定を考えております。
- ・住民説明会を実施するかどうか、事務局としても悩んだところですが、開催にあたって広い会場を選んだ上、人数制限も設けさせていただいているので、感染対策については万全を期して実施できるだろうということで、実施させていただいております。また、対面で町民の皆さまと意見交換をさせていただきたかったということで実施しております。そのような中で、人数が少ないということでこちらも承知はしていたのですが、コロナ禍で意見交換に來られないという方も想定して、動画配信をさせていただいたり、広報の中にこの構想と意見を出していただく形で配布させていただいたりすることで、出来る限り住民の方の声を伺って基本構想の方に反映させていきたいと、考えた中で、様々な方法を組み合わせ実施させていただいております。
- ・2点目ですが、クランクの部分について、町としては2018年の8月に山下町長が県土整備部長の方に整備の要望に伺っています。その際に県土整備部長の方から、「道路を整備するにあたって、沿道の土地利用が全て住宅地になっていいのか。」「道路を整備することは良いが、駅前通りの賑わいが無くなっていく場合もあるので、県としてはまちづくりと一体で県道を整備したい。」というお考えをいただきました。そういったことで、町の方でも駅の北側のまちづくりを考えていく中で、県道も一緒に整備を位置付けていくというように考えております。それに合わせて、クランクの解消も考えております。
- ・ゾーンのお話ですが、水辺のゾーンということで御陣場川が流れております。駅の北側には流れておりますが、確かに現状を見ると、幅が狭くて深く、あまり川に近づくような環境では無いと思っております。こちらについては県の整備に合わせて、出来る限り水辺に近づけるような環境を整えていただきたいと、町としては要望していきたいと思っております。
- ・空き家の方は今もいくつかありますが、これからも増加していくことを見据えた活用方法について、地権者の方の考えも踏まえつつ、出来る限り空き家が少なくなるようなまちづくりを考えていきたいと思っております。

(回答：町長)

- ・上里町のまちづくりについて、私なりの将来展望について触れさせていただきます。ご存知の方もいると思いますが8年後の2030年に、高崎線が羽田空港に乗り入れる計画で準備しております。羽田空港に乗り入れますと、羽田空港から一本で神保原に

来ることができます。そうなりますと、海外や日本全国から羽田空港を降りれば、上里町を目指してくることも簡単になります。

- ・その時のポイントとして、ふるさと納税が挙げられます。現在、上里町に年間約 600 人位ふるさと納税を申し込まれている方がいらっしゃいます。年間約 1,500 万円位貢献していただいています。上里町に住んでいる訳ではないのですが、関係人口ということで、上里町を応援して下さる方々がいらっしゃいます。そのような方々に、「ふるさと納税をしている上里町って、どんな町だろう、行ってみたい」と思っただけのような、魅力のあるまちづくりをしっかりと行い、将来展望に繋げていければ、上里町の人口減少が進む中でも、少しずつ「こんないいまちだったら住もうかな」と思っただけのようなまちづくりを、「選ばれる街、住み続けたい街」ということで進めておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。